

<別紙 1 >

NECから参加したメンターの声（一部抜粋）

1. 男性、33歳、ハードウェア開発職

（Q参加した動機は？）

子供ができて以降、社会との関わり方について再考し、仕事とは別の形で社会と関わりをもつ場所を求めました。NPOで活動されている方々、メンター、学生たち、色々な人と出会いたいという思いからです。

（Qメンターとして活動した感想は？）

プログラムを通して、活動理念とライブや寄付の一体性を持たせることや、それらが失敗しないように進めることのフォローばかりを気にしていた気がします。人の成長のためのプログラムなのだから、もっと人を見るということを重点に活動するべきだったと思います。会社の外に出て、色々な職種の方、そして学生と関われることは魅力的だと思います。

2. 男性、43歳、設計技術職

（Q参加した動機は？）

震災復興支援。

（Qメンターとして活動した感想は？）

やってみたいことは、プログラムが進むにつれて変化していきました。まずは、チームをどうまとめていくか。そして、学生の消費や嗜好の動向・思考を知ること、ソーシャルビジネスに。

3. 女性、29歳、SE職

（Q参加した動機は？）

音楽と社会貢献が一緒というブラストビートの活動に興味を持ったからです。

（Qメンターとして活動した感想は？）

環境や年齢などが違う人に本当に伝えたいと思ったときに、伝えることの難

しさや楽しさを学べました。本気を出した人のパワーの強さを久しぶりに感じました。

4. 男性、29歳、SE職

(Q参加した動機は?) 学生たちの未来が有益になるように、学生たちの考え方を変えていきたいと思ったからです。

(Qメンターとして活動した感想は?)

きっかけさえあれば学生たちはどんどん変わっていく。ただ、そのトリガーがどこになるかが分からないのと、きっかけがあって変わり始める瞬間までの心の障壁が高いと感じます。社会人をしていると普段関われない学生に関わることができ、考え方などを知ることができるのが魅力。

<別紙2>

ブラストビートから、NECへの声

まず最初に、NEC本社ビルと玉川事業場で説明会を開催させていただき、計60名もの社員の方にご出席いただき、その中から17名の方実際に活動に参加いただいたことに御礼申し上げます。

皆様のITや経営などに関わる専門知識が、高校生や大学生の「学び」につながったことは勿論ですが、それ以上に、ひとりの人間として、本気で若者たちに向きあっていただいたことに深く感謝しています。「本気」だからこそ、若者にとっても、社会人にとっても、真摯な学びの場になることが、ブラストビートの価値だと信じています。今後とも、ご支援よろしくお願い申し上げます。